

ネットワークアンケート ⑭

糖尿病ネットワークを通して

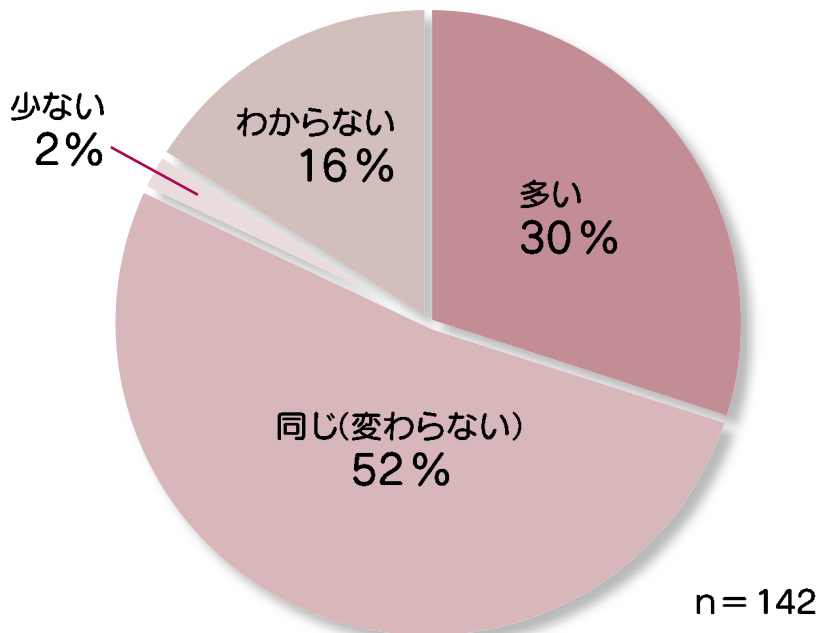
医療スタッフに聞きました

Q. 糖尿病患者さんは、健康な人や他疾患の患者さんと比べ、旅行先で体調に関わるトラブルが多いと感じますか？

猛暑が続いた今年の夏。旅行シーズンのお盆を前に、今回は“旅行”についてアンケートを行いました。とくにインスリン療法を行っている患者さんにとっては、不安や苦労が多いのではと推測されます。医療スタッフの皆さんは、患者さんの“旅行”についてどうお考えでしょうか。

[回答数：医療スタッフ142(医師41、看護師37、准看護師1、管理栄養士18、栄養士1、薬剤師19、臨床検査技師8、理学療法士4、その他13。うち日本糖尿病療養指導士37、健康運動指導士7)、患者さんやその家族482(食事療法を行っている301、運動療法を行っている221、経口薬を服用している54、インスリン療法を行っている281 / 重複回答)]

* ここでいう「旅行」とは、宿泊を含んだ旅行を指します。



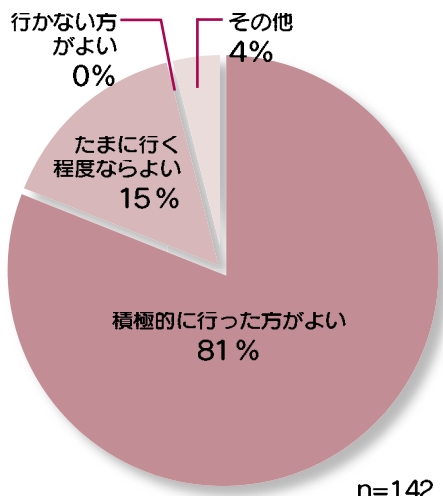
半数以上の医療スタッフが健康な人や他疾患の患者さんと「変わらない」と答えました。どの程度を“トラブル”とするか判断が分かれますが、右ページ上の患

者さん側の回答を見ると、7割弱の患者さんが大なり小なりの“トラブル”を経験していると答えています。旅行先での“トラブル”でもっとも多かった「低

血糖が起こった」等のさまざまな緊急事態に対し、適切な対処ができるよう、指導の必要性が見受けられます。薬の飲み忘れ、打ち忘れの際の対処法、時差がある場合の服薬や注射の仕方、器機の前備、薬剤を多めに持っていくなどの知識が欲しいと、とくにインスリン療法を行っている患者さんの回答からも多く上がっていました。

左のグラフでは、患者さんの旅行についてどう考えているかをうかがいました。糖尿病だから旅行は控えた方がよい、といった考えの方はおらず、積極的に旅行を楽しむべきという意見が圧倒的で「コントロールが良ければ、健康な人と同じことができる」と肌で感じてほしい(看護師)という声も。しかし、実際、患者さんから積極的に旅行について医療スタッフに相談をする機会は少ないようです。旅を“安全に”楽しんでもらうためにも、やはり日頃の指導は欠かせません。

Q. 糖尿病患者さん(病状が良い場合)が、旅行に出ることに對してどうお考えですか？



Q. 貴院を通院中の糖尿病患者さんが旅行に出る際、相談を受けることは多いですか？

